

## 目次

序	形井秀一：筑波技術大学名誉教授	i
日本の鍼灸 100 年、何が変わったのか？ なぜ故、変わらないのか？		
	箕輪政博：社会鍼灸学研究会副代表)	1

### 第 11 回社会鍼灸学研究会講演特集

#### テーマ：近代を超える鍼灸

#### —何故、日本の鍼灸は、今ここに存在<sup>ある</sup>のか？—

- 江戸期の鍼灸・あん摩と視覚障害者  
一杉山流鍼術の江戸から明治の展開を中心に—  
香取俊光：群馬県立盲学校教諭
- 明治以降 150 年の鍼灸・あん摩関連法の歩みについて  
坂部昌明：森ノ宮医療大学兼任講師
- 戦後の GHQ 旋風と日本鍼灸の再出発  
奥津貴子：呉竹鍼灸柔整専門学校教諭
- シンポジウム (全体討論)
- 熊本地震における鍼灸支援と問題  
嶺総一郎：首都医校鍼灸学科教諭

<b>原著</b>	鍼灸・マッサージの業及び教育制度に見る日本とベトナムの比較研究	
	ファン・バン・ソン：筑波技術大学大学院生	53

<b>原著</b>	治病信仰と灸 —松本市灸地藏と今治市凧見観音の調査報告—	
	舟木宏直：京都仏眼鍼灸理療専門学校	66

<b>原著</b>	鍼灸あん摩マッサージ指圧の受療者増加に関する研究	
	～鍼灸あん摩マッサージ指圧に対する助成制度から～	
	井上智寛：筑波技術大学大学院生	73

あとがき

	箕輪政博：社会鍼灸学研究会 副代表	82
--	-------------------	----